

令和7年（第26回） 放送番組審議会議事録

開催日時 令和7年3月11日（火）
10:00～12:00
開催場所 ケーブルメディアワイワイ 2F 会議室

〈在任審議委員数〉 12名

〈出席審議委員数〉 10名

〈出席審議委員氏名〉 敬称略

牛島 宏（委員長）

池上 武博 吉田 将大 森下 由輝 野中 賢一 山本 裕見子 小田 司 是澤 栄一郎

甲斐 典明 後藤 紀子

〈番組審議会進行役〉

牛島 宏 （委員長）

〈放送番組審議会成立の確認〉

株式会社ケーブルメディアワイワイ放送番組審議会委員12名の内、過半数を超える10名出席。
本会が成立していることが確認された。

〈事務局出席者氏名〉

高森 靖弘 佐川 大貴 上原 可和恵 安藤 幸加 植木 あずさ

1. 開会挨拶（委員長）

2. 審議委員の紹介

- ・ 審議委員の挨拶
- ・ 事務局の挨拶

3. 報 告

『令和6年度自主制作番組放送実績について（報告）』

◆事務局報告（報告：事務局 上原）

■令和6年度自主番組放送実績報告

1. 自主制作チャンネルの報告

111ch 情報チャンネル
データ放送・災害情報・議会中継・選挙の開票速報等

121ch 全国のCATVの制作番組を放送（えんてれ）

999ch ワイワイチャンネル
ワイワイエリア（延岡・門川・日向・高千穂・日之影・美郷・都農・川南）
の情報を中心に放送

2. 令和6年度の自主制作番組の放送実績の報告

（1）令和6年度コンテンツ制作方針

2023年度から「様々なコンテンツで地域を安心・安全で楽しく豊かに！」をテーマに掲げ、コンテンツ制作に取り組んでいる

TVだけではなく、NETやSNS・ラジオ・紙面など、あらゆる媒体を活用し、より良い情報発信に努め、地域住民にとってなくてはならないメディアを目指して、「人と人」「地域と地域」をつなぐコンテンツ制作に取り組み、特に今年度は

- ①住民参加型コンテンツ
- ②地域課題解決型コンテンツ
- ③発信力の強化
- ④他社との連携

の4つの目標を掲げ、取り組みを進めてきた

(2) 地域クリエイター育成へ waiwai PLAY LAB

令和4年3月 延岡駅前にオープン

動画制作をメインに「Technology」「Entertainment」「Education」3要素を取り入れ、遊べる、学べる、発信・交流できる機会を提供施設を活用し、地域クリエイターを育成し、地域の活性化にもつなげたい

(3) 住民参加型コンテンツ・地域課題解決型コンテンツ

◇ワイワイテレビ部

地域クリエイターを育成し、メディアに興味を持ってもらうこと、地域を元気にしていくことが大事だと考え、ワイワイテレビを身近に感じてもらい、自分事化してもらえるコンテンツとして、令和5年4月、市民の皆さんと共に番組を作りたいと【ワイワイテレビ部】を立ち上げた

テレビ部では今年度、大きく2つの活動を行った

①商店街盛り上げプロジェクト

- ・山下新天街の通行量の調査・新しく事業に取り組む人の紹介
→変わりゆく商店街の現状を発信
- ・商店街の理事長からの依頼で、「お笑いライブをしたい！」という小学生の七夕の願い事を叶えるため協力
→よしもと芸人とのお笑いライブを企画・開催した

②ETOランド盛り上げプロジェクト

- ・実際に足を運んで、ETOランドの魅力を調査
→魅力を発信するため、メンバーの力を合わせ延岡市北方町の「ETOランド」のテーマソングを制作し、延岡市北方町を中心にCDを配布した

※そのほか昨年度に引き続き市民が企画・脚本したドラマ2本（プライド・ありがとう集め）も制作・発信

◇年始特番 座談会「2025年の延岡市を考える」

メンバーと有識者が自由に意見を出し合いながら座談会形式で今後の延岡について考えた
→当日は、ラボをバー仕様にし、スペシャル感を演出
→「目安箱を設置し、その中から気になる事を取材」などの意見が上がり今後の取り組みにもつながる会になった

※年始特番では、2年後の「国スポ・障スポ」で活躍が期待される選手2人を紹介するなどし、視聴者のみなさんから「年始にふさわしい明るい話題で良かった」との声をいただいた

◇コネクリ延岡

延岡を映像エンターテインメントの街として盛り上げよう！

期間：2024年10月5日～2025年1月25日

参加者：延岡から北海道まで12組 ※テレビ部の部員も参加

内容：クリエイターが延岡に滞在しながら縦型ショートムービーを制作

滞在場所や撮影候補地の案内・市民との交流・機材などはワイワイが提供

メンターは、「カメラを止めるな！」の上田慎一郎監督

■撮影は市内42ヶ所、市民約150人以上が制作に携わった

■ワイワイプレイラボで行われた映像祭には約250人が来場

■クリエイター紹介VTRや当日の映像祭の様子はYouTubeでも公開

■クリエイターの奮闘や取り組みをまとめた特別番組を3月に放送

(satonoka 4Kにて3月中旬 全国のケーブル局に配信予定)

ケーブルアワード・ベストプロモーション大賞 グランプリ受賞

チラシや映像作品、地域での取り組みなど全国各地から応募のあった118の中から

グランプリをワイワイとして初めて受賞

「地元ケーブルとクリエイター・市民が連携した取り組みでありケーブルテレビならではのアプローチとして意義深いテレビとは異なる縦型にこだわった点も興味を引く」

「大変よく構成されたレベルの高い企画で地域活性化への貢献度も高く 地元の映像企業として重要なプロジェクトだと思う」との評価をいただいた

(4) 地域課題解決型コンテンツ

知って区！

◇ワイワイエリア各地区の区長が出演

区の魅力や地域の課題解決につながるモデル地区を番組内で紹介

この取材がきっかけで地域の情報（区の運動会など）がもらえるようになったり

当日の写真や動画などを寄せてくれるようになったりして 地域とのつながりが深まっている

(5) 他社との連携

◇日本放送協会（NHK宮崎）

・素材交換（7月～）…それぞれが制作したコンテンツを交換することで互いに情報の幅が広がり リソースの確保も図れる

■ワイワイ→NHK：特集・知って区など（7分前後）

■NHK→ワイワイ：防災コンテンツ（1分～3分半程度）

・ワイワイ×てげビビ！（1月）…1月31日（金）のてげビビ！を、ワイワイプレイラボより生放送。MCはワイワイ（1人）×NHK（2人）の3人が務め、ラボの紹介やコネクリに参加した地元クリエイター（テレビ部員）の紹介などを行った

◇テレビ宮崎（UMK）

・ゴールデンゲームズinのべおか共同制作（5月）

TV中継（999ch・えんてれ）

YouTube生配信（約13万回再生）

※UMKは後日メインレースを収録放送

・Wa！FULL×ぶら金（6月）

UMKの番組「土曜なのにぶら金」にワイワイのMCが登場！延岡の老舗カフェやプライベートサウナなどディープな魅力を紹介

※素材交換も開始（UMK⇄ワイワイで映像・原稿をやり取りし互いにリソースの確保を図っている）

◇タ刊デイリー新聞社

・特別番組「海を渡った風船～戦時下の青春～」

タ刊デイリーと延岡市立図書館が開催している平和祈念資料展の展示と連動

青春時代を戦時下で過ごした延岡市在住の女性にスポットを当て全国の女学生が製造に携わった兵器「風船爆弾」についての解説やインタビューなどを通して“銃後”の人々の戦争について考えるドキュメンタリー番組を制作

※タ刊デイリー新聞（紙面）でも紹介

・連動企画で講演会「銃後の戦争～その時、女性や子どもたちは～」も開催

ワイワイプレイラボで講演会・パネルディスカッションを開催

風船爆弾に詳しい、明治大学平和教育登戸研究所資料館の山田朗館長の講演の他

戦争体験者・市内の教育関係者をお呼びし様々な視点から直接戦地には赴かなかった

“銃後”と呼ばれる人々について考えた

◇県内CATV・MRT宮崎放送

・全国高等学校野球選手権宮崎大会（7月）

開会式・1回戦～準々決勝を全試合生中継

今年度もエリア内高校の試合を夜間に再放送

バーチャル高校野球（スポーツブル）でも配信

「一球入魂～栄光への道～」高校野球中継を前にワイワイエリア内の野球部11校を紹介

◇ジャパンケーブルキャスト（えんてれ）

「ひなとりっぷ」

元SKE48でJCCGIRLSを務める磯原杏華さんが、宮崎県内の魅力を発見する番組を共同制作

ワイワイチャンネル・えんてれ 一部ケーブルテレビ局で放送

アクティビティ・街並み散策・グルメなどを磯原さんが体験

地域の魅力を発信し、交流人口を増やすことに繋げた

◇九州イチオシ！

今年度は九州各県のケーブル局12局が参加

地域の「イチオシ！」のアクティビティやグルメ・スポットなどを紹介・発信

※ワイワイからは2番組を発信

①美郷町で体験できるウェイクボードにリポーターが挑戦

②延商生が辛麺屋栴元と共同開発した商品を紹介

◇その他中継・特別番組

- ・日本ケーブルテレビ連盟共同制作

1月 壮観劇場「阿蘇山が生んだ絶景」
3月 おまつりニッポン「美郷町の師走祭り」

- ・東京デジタルネットワークTDN共同中継

東京都池袋「池袋ハロウィンコスプレフェス」中継（10月）
TDN（全国CATV15社）共同での中継コンテンツを制作・放送

(6) メディア発信力強化

◇FMひゅうがとの連携

●高校生ラジオ

ワイワイエリア内の高校に通う高校生が自分の学校の取り組みや流行っていることなど紹介
（今年度は10校の高校生が出演）※999ch・FMひゅうがで放送

3月1日（土）～放送：特別番組「高校生ラジオ～卒業スペシャル～」（60分）

今年度、卒業する生徒に3年間の思い出などを語ってもらった

●FMパーソナリティがレポーターでTVに登場

ラジオパーソナリティが地域のイベントや行事をレポートしたり、参加者にインタビューしたりして独自の目線でニュースを発信

◇SNS発信強化（ワイワイ×劇団スカッシュ コラボ）

ショートドラマで絶大な人気を誇る動画制作集団「劇団スカッシュ」とのコラボ企画を実施
延岡市を舞台にショート動画を制作

※9月から制作・今年度は全32本を制作

延岡市内の観光スポットや地域のスーパーなどでロケを実施

ワイワイテレビ部のメンバーも出演

完成した動画はワイワイのSNSでしか視聴できないものもある

※コラボ前と後でのSNSフォロワーは最大100倍のフォロワー増に繋がった

・YouTube（コラボ前 4,560→ 後21,173）

・TikTok（コラボ前 77→ 後7,722）

◇コンテンツの配信強化

- ・尾末神社 秋の大祭（11月）999ch・YouTubeで生配信

港町・門川の秋の伝統行事を初めて生中継

クラウドを活用した中継システムを初導入

中継回線や現場機材を簡略・省力化しつつ臨場感のある映像を届けた

- ・eスポーツ大会 のべおかPUYOLEAGUE（2月）

999ch・YouTubeで生配信

地元企業など15チームが参加

(7) 中継番組充実

- ・「F C延岡 AGATA公式戦」(4月)
ホーム開幕戦を生中継 中継前には選手の意気込みを番組・SNSでも発信した
- ・「日向・東臼杵・延岡・西臼杵地区 中体連陸上競技」(6月)
夏の中体連の4地区合同で行われた陸上競技を延岡市西階陸上競技場から生中継
トラック競技を中心に放送
- ・「第47回 まつりのべおか」(7月)
出合い神輿・ばんば総踊りを中心に放送 県外在住者にも見てもらおうとY o u T u b eでも配信し1万回弱再生されている
- ・「第48回 日向ひよっとこ夏祭り」(8月)
初めてスポーツ実況のような中継スタイルを導入
複数台のカメラを設置しサブチャンネルでの配信を試みた

その他特別番組

- ・のべおか天下一薪能(12・1月)
10月12日(土)開催の薪能を全編ノーカット字幕付きで放送
能で使用された能面も紹介
- ・川南町議会議員選挙(3月)
住民投票の末、リコールが成立した選挙を生中継
- ・天下一!のべおか中学駅伝競走大会(3月)
毎年2月に延岡市で開かれる中学生の駅伝大会を収録し放送
※今年はDVD販売も行う予定
- ・ワイワイグルメ博(3月)
3月22日(土)延岡市城山公園で開催するワイワイグルメ博
ステージイベントや出演者インタビューなどをダイジェストで放送

(8) その他レギュラー番組

◇Wa!FULLコーナー

- ・「特集」…注目の情報を分かりやすく伝える。ジャンルを問わず様々なイベントや人物などを紹介
- ・「グルメはメグル」…ワイワイエリアの飲食店のおすすめメニューを紹介
- ・「ひなたごはんいただきます♡」…地産地消の促進・地元食文化の継承などを目的に、その季節に合わせたレシピを紹介
- ・「てげてげ珍道中」…日向市出身のお笑い芸人「堺たいよう」がワイワイエリアの各地を訪れ、出会った人たちと交流するアポなし街ぶらコーナー

◇その他レギュラー番組

- ・「ワイワイ釣り三昧」※4K制作
…ワイワイエリアの釣り情報を紹介 1月には読売ジャイアンツ戸郷翔征選手が出演
えんてれ・宮崎ケーブルテレビでも放送
- ・「ユネスコエコパーク紀行」※4K制作
…宮崎・大分にまたがる祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの魅力を発信する番組
えんてれ・長崎ケーブルメディアでも放送
- ・「カミタビ」※4K制作
…宮崎の神話スポットを巡り、地域に根差した神話を紹介
秋田ケーブルテレビ・BTV（都城）でも放送
- ・「WG C e v o l u t i o n」
…eスポーツ魅力発信番組
ワイワイ所属プロプレイヤーによるeスポーツ講座などを放送
- ・「ひなたの鉄道見聞録」
…宮崎を走る日豊本線100年の歴史を振り返りローカル線ならではの魅力を再発見する番組
S a t o n o k a 4Kでも放送
- ・「黒木渚のひょっとこどっこい」
…日向市出身の音楽家で小説家の黒木渚さんが地元日向への思い、音楽への思いを語る

(9) その他

【有事の際に】命と暮らしを守る 災害関連情報発信

市民に安心・安全を届けることもケーブルメディアワイワイの使命
災害の発生が心配される時には、避難情報などの防災情報を発信している
昨年宮崎県に台風10号が上陸した際は、各地に設置している河川カメラの映像とともに避難
情報を発信した
災害発生後は復旧・復興についてのニュースを随時放送し、復旧情報はT w i t t e r などのSNSでも発信していく
有事の際に、有益な情報をエリア内の方に提供できるよう努めていく

【報告】

番組コンクール受賞

◇地方の時代映像祭優秀賞・九州番組コンクール準グランプリ

「壮観劇場～高千穂溪谷と幻の鉄路～」

かつて九州横断の幻の鉄道計画があり熊本側には建設が止まった高森トンネル宮崎側には
巨大鉄橋が廃線後も佇んでいる
観光鉄道として復活したトロッコや沿線の絶景と共に伝える

◇番組コンクール優秀賞

「特攻隊長 黒木國雄の遺言」

夕刊デイリーと延岡市立図書館が開催している平和祈念資料展の展示と連動
父に見送られ、出撃した延岡市出身の特攻隊長・黒木國雄さんをテーマにしたドキュメンタ
リー番組を制作

事務局 上原：以上が今年度の自主番組放送実績の報告です。

牛島委員長：ありがとうございます。

審議委員の皆様には、ワイワイテレビ部特別座談会『ノベオカ×コレカラ』
(24分)をご覧ください、
令和6年度の自主制作番組の放送実績についてもお1人ずつご意見をお願いいたします。

ワイワイテレビ部特別座談会『ノベオカ×コレカラ』(24分)

○番組視聴を受け○

牛島委員長：令和6年度の自主制作番組の放送実績とご覧いただきました「ノベオカ×コレカラ」
について、お1人ずつご意見をお願いします。

森下 委員：ケーブルテレビは地域密着型ということで、ワイワイテレビ部は地元の方を主役としてテレビ番組を作っていて、ケーブルテレビらしい素晴らしい活動だと思っております。私の娘ですが、テレビを見る機会がないです。一人暮らしをしている娘のところに行くと、テレビを持って帰ってくれと言われるくらいテレビを見ない状況です。なので、こういう形でケーブルテレビを通して地元を発信するということはすごく重要なことなのではないかなと思いました。また延岡市の一大イベント、ゴールデンゲームズがあります。弊社の選手を紹介していただく事前番組を制作していただいて大変有難く思っております。

吉田 委員：ワイワイテレビ部はすごくいい取り組みだなと思っています。テレビ部の皆さんの一人一人の魅力がもっと出てくればいいなと思います。座談会を見てもそれぞれのキャラクターが出ていてのめり込んで見ちゃいました。一人一人の魅力が出てくるような取り上げ方がされていくと部員としての活動がもっとよりよいものになるなあと思いました。座談会でもありましたが、外からの視点は色んな気づきがあると思います。このコネクリ延岡の取り組みは延岡市外から来られるクリエイターの目線があり、すごくいいなと思いました。ぜひ続けていってほしいなと思います。それと、南海トラフ地震が発生するといわれている中で災害が起こったときにチームでどういう風に連携するのか、また訓練などはしているのでしょうか。

事務局 高森：はい。制作チームだけではなく社内全体で動くことを計画しております。おそらく単局だけでは発信というところも難しいと思いますので、近隣局や遠方のケーブル局との連携も進めてまいりたいと思います。またFMに関しましては、日向門川に限りませんが、地震発生時に津波警報が出た場合、自動的に避難情報の音声流れるようにはしております。夜間やスタッフがいない時にもすぐに対応できるようになっております。またケーブルテレビ局なので、人員的なものがネックとなっており、第一報はNHKさんにはかなわない部分があるので第一報ではなく、その後の避難生活の支援で

すとかそういったところに重点を置いて、キー局には届かない地方の小さい声を集めて発信できるような取り組みをしていきたいと思います。

是澤 委員 : 番組を見て延岡の現実が見えました。昨日日向で食事会があって、帰りにタクシーを呼んだところ今日は配車が1台ですと言われました。日向の街ですが、人も歩いていないし、若い人たちもいなくて賑わいもなくなっています。番組でも話していましたが、若い人がとどまる場所もない、それが今の現実だと思いました。番組を見て考えさせられました。また相対的な意見ですが、日向の取材が少ないように感じます。もう少し日向での営業をされて視聴者数を増やして、日向の番組を増やしていったほうがいいなと思います。

事務局 高森 : 決して日向の取材が少ないというわけではありません。制作者側からとしては均等に扱っております。どうしても人口比率的なところでいうと、日向よりも延岡のイベントが多く、ニュースの取材の本数も延岡が多い状況です。

甲斐 委員 : 歴史に携わっているものとして延岡は古代から北半分の中心核であり、北と南の境目の延岡市は交流都市です。延岡市民も政治経済文化を考えてワイワイさんも番組作りのベースを考えていったほうがいいなと思います。

メディアミックスは非常に大事だと思います。W + i n g 廃刊になりますが、そのほかの情報発信は今後考えていますか。また防災カメラは大雨のときなどは重宝しております。宮崎県北の北半分を背負っているつもりで頑張っていたきたいです。エリア拡大についても教えてください。

事務局 高森 : メディアミックスにつきましては今後も進めていきたいと思います。今月号でW + i n g 廃刊となりますが、時代の流れやコスト高もあり、また紙面で力を入れている特集のネタ探しなども非常に苦労している状況です。紙面ではなく、新たな形での発信を時代の流れとともにしていこうとなり、廃刊という形になりました。来年度からはさらにSNSに力を入れていくのと、紙面に変わる新たな情報発信の方法を模索しつつ取り組んでまいりたいと思います。

エリア拡大の件についてですが、都農・川南につきまして加入者は少ない状況です。この前初めて川南町議員選挙を中継させていただきました。Y o u T u b e で見て頂いている方が多く、4, 0 0 0 回くらい視聴再生されていたいました。川南の人口が1万2 0 0 0 人くらいなので3分の1くらいがご視聴いただいていることを考えると、十分なPRはできているのかなと思います。認知に関してはそういったところで出来ているのではないかなと思います。

小田 委員 : ワイワイテレビ部の座談会ですが、日向でもやってほしいなと思いました。日向市も昔からサーフタウンではありますが、それよりも日向岬といういいところがあります。けど素通りして高千穂に行ってしまう。また細島に妙国寺という国指定の庭園があるのですが、国指定ということをしらない市民が多いです。本当に宣伝が下手すぎるのでうまくPRしていったほうがいいなと思います。

後藤 委員 : 私は熊本出身で、結婚して夫の仕事の関係で宮崎に来ました。宮崎に民放が2つしかないことにビックリしました。延岡にきてワイワイテレビで民放が見られるのですぐに入りました。熊本の民放が見られるので嬉しいです。現在、息子たちもテレビを見ないです。選挙とかがあってもネットで見ていますが、ネットの情報は嘘が多いです。嘘の情報があっても謝罪をしないし、ネットの情報をみんなが信じていることが多くなっているって怖いなと思っています。W + i n g が廃刊になり、じゃらんという旅行雑誌もこの3月に廃刊となりました。新聞やテレビは厳しい状況だと思います。今はインターネット・SNSという時代の流れになっているので、ワイワイさんもそっこのほうに力を入れていった、情報発信をする役割を担っていったほうがいいなと思います。

特に地元を盛り上げる一番近いところにいるメディアなので、視聴者と情報のやり取りなどをしたいと思っています。私はワイワイのLINEがあることが知らなかったのも、周知して欲しいなと思いました。またLINEの活用方法で、視聴者からの情報集めなどできるのではないかなと思います。延岡市は、PRが下手だなと思いました。延岡は海があって、川があって、自然があって、すごくいいところがいっぱいあるのに発信が下手だなと思います。もったいないです。これからも地元の盛り上げをよろしくお願いいたします。

山本 委員 : 番組を見て、延岡はよそ者に優しく、役割を与えてくれるということを改めて感じました。私も埼玉県出身でこっちに来て40年になり色々なことをさせていただいております。孫が「のべおか天下一薪能」に出ていたので録画していますが、まだ現状見ていません。いくらいいものを作っても、それを見る時間が取れないのが現状です。見ると面白い、だけど面白いかどうかは見なきゃと分からない。そこに行くまでのPRができていないと思います。見ようという気になかなかならないです。誰でもOKな座談会とかあったら出てみようかなと思いました。コロナも終わって顔を見合わせて何かできることがあるのではないかなと思いました。

今年の成人式で会場の生配信をやっていました。着付けの関係で会場にいて、中には入れませんでしたが、中の様子が見られますよというQRコード入りのチラシが会場に貼ってありました。誰も親御さんたちが気づいていない状況でした。高齢者層がおいでいられない仕組みもないとどんどん追いついていけなくなる、離れていく要因になるのではないかなと思いました。期待値も大きいのでこれからもよろしくお願いいたします。

野中 委員 : 他社との連携をさらに充実して欲しいなと思います。6時ごろ晩酌をするのですが、お酒が進むような明るいニュースを放送して欲しいです。もう一つはW + i n g の廃刊ですが、テレビ・ラジオを聞いていても30秒後には忘れていきます。冊子だと情報は見返せるし何度も読めます。また出来たら再発行をして欲しいです。以上です。

池上 委員 : 私も番組審議会の委員をさせていただいて長くなりましたけれども、年々ワイワイさんの番組内容が充実していていると思います。私が特に好きなのは、自主制作番組のユネスコエコパーク紀行とカミタビです。私は延岡生まれですが、延岡の歴史を知っているようで知らないです。特に若い人に見せたい番組だなと思いました。夕刊デイリーとの共同特別番組「海を渡った風船」という番組を見させていただきましたが、女学生が戦時中に小倉に行って風船爆弾を作っていたという事実があったということを皆さん知らないと思います。現在延岡高校の同窓会の会長をしております、現役の高校生にも知らせたいなあとと思いました。また4月27日に同窓会がありますのでそちらを放映させていただきたいと思います。元旦に行われたニューイヤー駅伝では旭化成の優勝は本当に気持ち良かったです。まして最後のラストスパートで圧勝でした。そういう喜ばしい話題があると延岡も日向も元気が出るのではないかなと思いました。

4. 報 告

『令和7度自主制作番組編成方針について（報告）』

◆事務局報告（報告：事務局 上原）

テーマ「人と人・地域と地域を繋ぐコンテンツにより街を楽しく元気に！」

「住民参加型コンテンツ」「地域課題解決型コンテンツ」「発信力強化」「他社との連携」の
4つの柱を軸にコンテンツの制作・編成に取り組み、より地域とともに作り上げるコン
텐츠を目指していく

レギュラー番組

2番組継続

- ワイワイニュース（15分 月曜～金曜更新）※土・日再放送
→ワイワイエリアの情報を短尺ニュースで紹介
- Wa!FULL（30分 月曜日更新）週1更新に変更 ※土・日再放送
→新たな視聴層を取り込むため内容の見直しを図る

2025年度放送の新規・改編番組

- ひむか遺産（カミタビの後継番組）
地域の歴史・文化を再発見
神話に限らず 民話／民俗踊り／郷土料理／寺社仏閣など
地域の「伝統芸能・民俗文化」の伝承を紹介する
- 地域の疑問解決を図る市民主導型バラエティ
ワイワイテレビ部の部員とともに部員が持つ疑問または視聴者から寄せられた意見や疑問を
市民のツテを元に市民が解決する数珠つなぎ的に接点を作り市民と共に作る地域バラエティ
- インフルエンサーを活用したテレビとSNS双方発信コンテンツ
- アプリをフックにしたスナック文化発信コンテンツ

住民参加型コンテンツ

ワイワイテレビ部活動促進

- テレビだけではないコンテンツづくり
ワイワイの持つテレビ・ラジオ・イベントといったコンテンツ力を活かし「地元が好き」
「地域のために何かしたい」「自分の好きを広げたい」そんな思いを持っている方と一緒に
地域を盛り上げる活動を行う
- ワイワイプレイラボの活用
 - ・Wa!FULL等の公開収録
 - ・市民企画のワークショップ
 - ・高校生向けの撮影・編集ワークショップ

新規コンテンツ開発

観光振興・移住

- カミタビと連動したデジタル観光マップ・カミタビツアー

スポーツ中継

1 2 月完成予定のアスリートタウン延岡アリーナで行われるスポーツ大会の中継等

他社との連携強化

- UMKテレビ宮崎
 - ゴールデンゲームズinのべおか共同制作
 - 選挙報道の連携
 - 災害時の連携
 - ニュース取材の連携
 - レギュラー情報番組・バラエティ番組の連携
- 夕刊デイリー新聞社
 - 紙面と映像のコラボ促進
 - 情報の共有化
- NHK宮崎
 - 番組共演
 - 番組相互提供
 - 防災コンテンツ
- その他メディア・団体などとの連携
 - 九州をはじめ全国の他CATV局との連携促進
 - 異業種との連携

発信力強化（SNS活用強化）

- ワイワイ新規ファン獲得・プロモーション強化
 - ワイワイ×劇団スカッシュ コラボを2025年度も継続
 - テレビに限らずSNSを含めたメディアとしての発信力を強化し
 - 新たなファン獲得、地域での存在価値向上を目指す
- 多様な視聴形態
 - 即時性の高いニュースなどはSNSやインターネットライブ等で発信
 - 最適な届け方を検討し、ケーブルメディアワイワイが発信する何らかのメディアに市民が毎日触れる環境づくりへ
- 有事の際のメディア
 - 行政・団体・市民からの情報集約方法を確立し、広く発信することで必要とされるメディアを目指す

令和7年度特別番組

【議会中継】

- 延岡市議会定例会一般質問（6・9・12・3月）

【イベント】

- 延岡今山大師祭市中パレード（4月収録・5月放送）
- まつりのべおか出合い神輿・ばんば総踊り（7月）
- 御田祭（7月）
- 日向ひょっとこ夏祭り（8月）
- のべおか天下一薪能（10月収録・1月放送）
- 尾末神社秋の大祭（11月）
- 延岡花物語ワイワイグルメ博（3月）

【スポーツ】

- ひむかジュニアゴルフチャンピオンシップ（3月収録・5月放送）
- 九州サッカーリーグ FC延岡AGATA開幕戦（4月）
- ゴールデンゲームズ in のべおか（5月）
- 日向・東臼杵・延岡・西臼杵 中体連陸上競技（6月）

【選挙】

- 高千穂町議会議員選挙（9月）
- 日之影町長選挙（11月）
- 延岡市長選挙（1月）
- 美郷町長・町議会議員選挙（2月）
- 門川町長選挙公開討論会（3月）※選挙は4月

【その他】

- Wa！FULL年始スペシャル（1月）
- 高校生ラジオ卒業スペシャル（3月）

事務局 上原：以上が、来年度令和7年度の自主制作番組編成方針です。

ケーブルメディアワイワイは、様々なコンテンツを通じて、地域に愛され、地域の役に立つ企業を目指してまいります。

審議委員の皆様のご意見を何卒よろしくお願い致します。

牛島 委員長：ありがとうございました。それでは只今の報告についてご意見があります方は、ご発言をお願いいたします。

森下 委員：国スポ・障スポが宮崎で開催されますが、これからどんどん機運が高まるという風に思っています。今後ケーブルテレビとしての発信の役割があると思っています。令和

6年度の番組の中で国スポに向けた注目選手を取り上げていましたが、中学生が国体を目指したいと思えるような番組編成をまた作っていただけたらと思います。

事務局 高森：もちろん国スポの機運を高める番組編成を考えております。TVだけではなくてラジオのほうでも考えておまして、中高生を中心に未来のアスリートを紹介していく番組を来年度は作っていきたいです。国スポだけではなく2027年は祖母・傾・大崩ユネスコエコパークが登録10年ということと、西南戦争終結から150年という節目の年が3つ重なります。そういった文化的なところと自然を合わせて総合的に地域を盛り上げるようなコンテンツ作りに務めていきたいと思っています。

森下 委員：ありがとうございます。よろしく願いいたします。

吉田 委員：今年が戦後80年の節目ということで、門川町の遺族追悼式も令和7年度で最後になります。戦後を語り継ぐ方々が亡くなられていってそれを次の世代に渡す人々が減ってきているのが現状です。我々も戦時中の話を伝えていけるようなイベントなどを考えていきたいなと思います。また来年度も戦争番組は制作予定でしょうか。

事務局 高森：はい。来年度も平和を考える番組は計画しております。戦争番組は毎年継続して作っていきたいと思います。また文化会館さんにもご協力いただきたいです。座談会なども開いて若者に平和を伝えられる場というものを設けられたらいいなと思っております。

牛島 委員長：その他ございませんか。それでは私のほうから総括をさせていただきます。

令和6年度の放送実績といたしましては、毎年毎年内容が充実していて、世の中の課題というものも上手く取り入れようとしているのかなと思います。最初に思ったのはこのメンバーで座談会をしたらいいのではないかなと思いました。面白い座談会になりそうです。地元の人間が、地元のことを考えている座談会は必要で、そこにスパイスとして県外からのご意見があると非常に良くなっていくのかなと思います。ご要望がありますように各地区での座談会を計画していただけるとありがたいなと思います。

また災害については地元密着した情報を提供していただいておりますが、南海トラフレベルになると被害者になる可能性が非常に高いと思います。その後どう早く立ち上げるか、BCPの部分を実際に組み込まれたほうがいいのかと思います。

番組も全国各地に配信されており、秋田や色んなケーブルテレビとコラボしているのですが、どのような効果があったのかまた教えていただければなと思います。兎にも角にもオールドメディアという言葉をよく聞きますが、ワイワイさんはオールドメディアにならないようにと思っています。

それでは『自主制作番組の令和6年度放送実績と令和7年度編成方針』について、ご賛同頂ける委員の皆様は拍手をよろしくお願いいたします。

(拍手) 議案承認

牛島委員長：以上をもちまして令和7年放送番組審議会を全て終了致します。
皆様どうもありがとうございました。

以上、放送番組審議会の議事録1通を作成し、事務局である株式会社ケーブルメディアワイワイが
保管する。

令和7年3月11日

議事録署名委員 委員長

牛島 宏 ⑨